

# NEDOプロジェクトにおける スタートアップ企業の アウトカム指標の調査

## 公募説明会

※公募説明会当日投影資料からの修正箇所  
【スライド3】 (4) スケジュール「報告書提出~~は~~切」の日付

2022年4月5日

# 公募説明資料について



- 詳細については、公募要領及び仕様書の記載事項をご確認ください。
- 本資料は注意すべき点について、抜粋及び補足して説明したものです。

## (1) 件名

NEDOプロジェクトにおけるスタートアップ企業のアウトカム指標の調査

## (2) 内容

本調査は、**スタートアップ企業の役割に注目し**、どのようなアウトカムを生み出しているかを、**現状とは異なる点**に着目した**新たな指標開発**から成果の評価に繋げることを目的とします。

## (3) 予算額

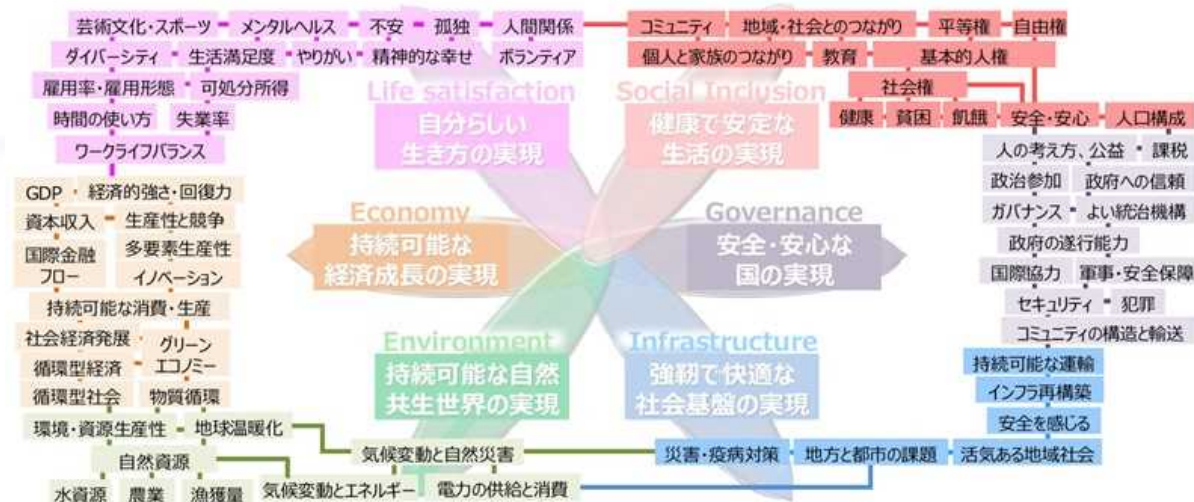
2,000万円以内

## (4) スケジュール

公募期間	:	3/25~ <b>4/11 正午</b>	(公募説明会： <b>4/5</b> )
委託先決定	:	4/26以降	(Webにて公開予定)
契約手続き	:	4/28以降	(予定)
調査期間	:	5/9以降	(予定) ~3/10
報告書提出〆切	:	<b>3/10</b>	

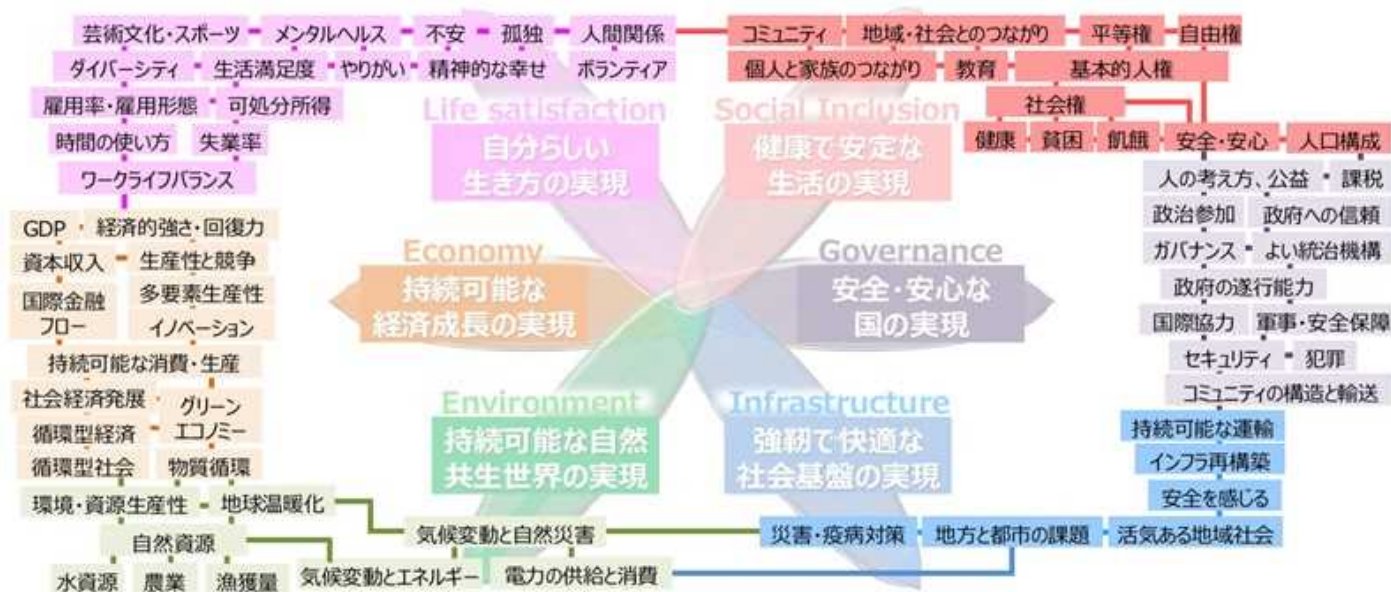
# 調査仕様 (1-1)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という）では、2004年度からNEDOプロジェクト終了後における研究開発成果の活用状況、売上げ及びマネジメント等に関して**追跡調査を実施**している。追跡調査はプロジェクト終了後、約5年間にわたる研究開発成果の動向把握であるため、**プロジェクト終了後6年以上経過した後に**製品やプロセスとなり広く社会に活用されている研究開発成果の状況については、十分に把握できていなかった。そのため、NEDOでは2009年度から、NEDOプロジェクトから生み出された研究開発成果がコア技術として活用された製品・プロセス等を「**NEDOインサイド製品**」と定義して、該当製品の抽出並びに抽出されたNEDOインサイド製品に対する上市以降の売上実績、将来の売上予測、社会的便益（CO2排出量削減効果、一次エネルギー削減効果等）及び波及効果等の試算を行ってきた。また、2021年度においては、社会便益性の視点を重視したアウトカムの再定義とその指標化についての調査を行い、**NEDO技術戦略研究センター**が提唱している「**イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』**」を参考にしたアウトカム指標を適用できるかについて検証している。



イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』

【NEDO 将来像レポート「イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』」を公表】  
— 大切にすべき**6つの価値軸**と、**実現すべき12の社会像**を提示 —  
[https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_101449.html](https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101449.html)



【経済産業省 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略】

[https://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/global\\_warming/ggs/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/ggs/index.html)

【経済産業省 イノベーション小委員会での議論（研究開発のあり方等を議論）】

[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo\\_gijutsu/kenkyu\\_innovation/023.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/kenkyu_innovation/023.html)

# 調査仕様 (1-2)



NEDO事業における実施者（委託・助成先）は、大企業と中小・スタートアップ企業に大別できるが、本調査では、シード / アーリーの成長期にある企業をスタートアップ企業と定義し、主たる対象とする。NEDOでは「研究開発型ベンチャー企業等の振興」を第4期中長期目標期間に取り組む3つの「柱」の一つとしており、前述の**スタートアップ企業はその特色を生かし、大企業からの再委託や共同実施等により大企業のアウトプットに貢献するほか、独自に環境や社会に望ましい影響を与え、大企業とは異なる重要な役割を果たしている。**

過去の調査からも、大規模プロジェクトに主眼を置いた捉え方とは異なるスタートアップ企業独自の特徴を見いだす取組を実施してきたが、**大企業主体のアウトカムを評価する既存の指標は、必ずしもスタートアップ企業へそのまま適用可能かどうかの見極めができていないと考えられ、**前述の2021年度調査に加え、更なる深掘りも必要と考えている。なぜなら、Well-beingについても、大企業で望まれるワーク・ライフ・バランスは、スタートアップ企業には当てはまらない可能性があるからである。

そこで本調査では、以上の課題を踏まえ、**企業価値を評価する指標（非財務情報などの可視化を含め）が明確ではないスタートアップ企業の役割に特化し、どのようなアウトカムを生み出しているかを概念整理から始め、NEDOプロジェクトにおけるアウトカム評価へ適用可能な新たな指標を検討し、アウトカム評価に活用できる指針を見いだすことを目的とする。**

## (1) 幅広い視野からのアウトカム指標候補の選定

スタートアップ企業によるNEDOプロジェクトのアウトカム評価を将来にわたって利用することを前提に、より広い視野からアウトカム指標の候補を収集する。具体的には、**公開文書（学術論文等）**を幅広くサーチして、スタートアップ企業の価値を表すアウトカム指標となり得る**候補を少なくとも10件以上選定し**、現状を段階的に選りすぐるところからアプローチする。

## (2) 投資家を含む社会からの期待を念頭にしたアウトカム指標の抽出

「**社会から期待されるアウトカム**」＝「**アウトカム評価で用いるべき指標**」という前提に立ち、アウトカム指標を抽出する。どのようなアウトカムを出せばスタートアップ企業は社会から評価されるのか、この点を明らかにすることを念頭に、本調査では**スタートアップ企業の公開文書（WEBサイト情報、目論見書等）**で得られる情報をもとに、**企業価値をもたらす指標を少なくとも10件以上抽出**する（例えば、ESG指標等）。

また、抽出にあたっての参考として、どのようなアウトカムに注目してファンドが投資しているのか、また企業価値はどのように高まるか等の情報を文献等により調査する。

## (3) 抽出したアウトカム指標の検証

(1) (2) で抽出したアウトカム指標の妥当性を**スタートアップ企業の実施者、及びそのユーザーへのインタビュー等を用いて検証**する。その際には、学識経験者を含む複数名の外部有識者や専門家を対象とし、調査結果全般に渡る意見として参考にする。

次のa.からd.までの全ての条件を満たすことのできる、  
単独ないし複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての**調査実績**を有し、かつ調査目標の達成及び調査計画の遂行に必要な組織、人員を有していること。
- b. 当該調査業務を円滑に遂行するために必要な**経営基盤**を有し、かつ資金等について十分な**管理能力**を有していること。
- c. NEDOが調査を推進する上で必要とする措置を、**適切に遂行できる体制**を有していること。
- d. 個人情報及び企業の技術情報を取得するにあたり、秘密情報保護の観点から、**秘密情報の取扱い**に関する社内規程等が整備されていること。





## (3) 提出方法

- a. 「(2) 提出先」のWeb 入力フォームから入力いただき、提出資料をアップロードしてください。アップロードするファイルを提出書類毎に作成し、**全てPDF形式で、一つのzip ファイルにまとめてください。**提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。
  
- b. 次の公募関連書類がダウンロードできますので、御参照ください。
  - ・ (資料1) 公募要領 (PDF)
  - ・ (資料2) 仕様書 (PDF)
  - ・ (資料3) 提案書類 (WORD)
  - ・ (資料4) 契約に係る情報の公表について (PDF)
  - ・ (資料5) 追跡調査・評価業務に係る特別約款【200630改正】 (PDF)
  - ・ 情報管理体制等確認票 (EXCEL)

## (1) 審査

以下の審査基準に基づき提案書類を審査します。なお、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんので御了承ください。

## (2) 審査基準

- a. 提案内容がNEDOの意図と合致していること。
- b. 本調査に係る問題点・課題を把握し、解決方法が優れていること。
- c. 調査の方法、内容等が優れていること。
- d. 調査の経済性が優れていること。
- e. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- f. 当該調査を行う体制が整っていること。
- g. 経営基盤が確立していること。
- h. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- i. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有すること。
- j. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況など。

# 問い合わせ



本公募に関するお問い合わせは、下記まで **E-mail** にて  
お願いします。なお、お問い合わせの内容に応じて、  
公平を期すために回答を本公募のウェブサイト上で  
公開する場合があります。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
評価部 和泉、依田、宮嶋、山本  
E-mail: [tsuiseki@nedo.go.jp](mailto:tsuiseki@nedo.go.jp)

ご応募をお待ちしております。